



国家検定 令和元年度 後期 技能検定受検案内

技能検定は、職業能力開発促進法に基づいて、働く人達の技能を一定の基準によって検定し、これを公証する国家検定制度です。

合格者には特級・1級及び単一等級については厚生労働大臣の、2級・3級については、県知事の合格証書が交付され、「技能士」の称号が与えられます。

〈重要なお知らせ ※詳細については6ページをご覧ください。〉

- 1 全ての受検者に対して受検申請時に本人確認書類の写しの添付が義務づけられています。
- 2 平成31年4月1日において35歳未満の方で、2級・3級の実技試験を受検する方は、実技試験手数料が減免されます。
- 3 令和元年度後期より実技試験手数料が改正されます。

1. 受検申込から合格証書交付まで

区 分	日 時	備 考
受 検 申 請 受 付 (期間内に提出)	令和元年10月7日(月)から 令和元年10月18日(金)まで	・ 郵送する場合(受付最終日の消印有効) ・ 申請書類を当協会に持参する場合 (土日祝を除く8時半～17時まで)
実技試験問題公表	令和元年11月29日(金)	・ 受検者に問題を送付します。(公表される職種のみ) ※12月6日までに届かない場合はご連絡ください。
受 検 票 送 付 (試験日程等の通知)	令和元年12月13日(金)予定	・ 試験日時および試験会場を通知します。 ※なお、職種によっては、この予定日より早く送付する場合があります。 ※12月20日までに届かない場合はご連絡ください。
実 技 試 験	令和元年12月6日(金)から 令和2年2月16日(日)まで	・ 日程を調整し、指定された期間で実施します。 ※日時(集合時間)と試験会場は、受検票でお知らせします。
学 科 試 験	令和2年1月26日(日)、2月2日(日)、 2月9日(日)	・ 詳しくは実施職種作業(P2～3)で確認してください。 ※日時(集合時間)と試験会場は、受検票でお知らせします。
合 格 発 表	令和2年3月13日(金)	・ 下記合格者に対して、ハガキで通知します。 ①実技・学科の両方に合格 ②学科のみの合格 ③実技のみの合格 ・ 合格者(技能士)については、県庁正門前および当協会の掲示板並びに県庁ホームページに受検番号が掲載されます。
合格証書の交付	令和2年5月頃の予定	・ 実技・学科の両方に合格した受検者に、後日宮崎県庁から連絡があります。



2. 実施する職種・作業ごとの学科試験日、実技試験の種別

- ・技能五輪の◎印は、技能五輪全国大会宮崎県予選を行なう作業です。(予選会についてはP9)
- ・受検者が少ない場合は、試験を中止するか他県に委託する場合があります。

職種番号	検定職種	技能五輪	作業名	作業番号	学科試験(※)		実技試験(※)			
					日時 (時間は集合時間)	計画立案等作業試験 (旧:ペーパーテスト)	製作等作業試験 (旧:作業試験)	判断等試験 (旧:要素試験)		
【1・2級】										
121	さく井		ロータリー式さく井工事	020	2月2日(日)	13:00	1月19日(日)	8:45	-	1/19
004	鍛造		プレス型鍛造	030	1月26日(日)	9:45	1月26日(日)	13:00	○	-
013	機械検査		機械検査	010	1月26日(日)	9:45	1月26日(日)	13:00	○	-
016	電気機器組立て		シーケンス制御	060	1月26日(日)	9:45	1月26日(日)	13:00	○	-
142	空気圧装置組立て		空気圧装置組立て	010	2月9日(日)	13:00	1月19日(日)	8:45	-	1/19
077	農業機械整備		農業機械整備	010	2月2日(日)	9:45	2月2日(日)	13:00	○	-
069	冷凍空気調和機器施工	◎	冷凍空気調和機器施工	010	2月2日(日)	9:45	2月2日(日)	13:00	○	-
025	婦人子供服製造		婦人子供既製服縫製	030	1月26日(日)	9:45	1級のみ 1月26日(日)	13:00	○	-
038	建築大工	◎	大工工事	010	2月9日(日)	9:45	-		○	-
039	かわらぶき		かわらぶき	010	2月9日(日)	9:45	-		○	-
046	配管	◎	建築配管	010	1月26日(日)	9:45	1月26日(日)	13:00	○	-
074	型枠施工		型枠工事	010	1月26日(日)	9:45	1級のみ 1月26日(日)	13:00	○	-
047	鉄筋施工		鉄筋施工図作成	010	2月9日(日)	13:00	-		1/19 8:45	-
			鉄筋組立て	020					○	-
157	コンクリート圧送施工		コンクリート圧送工事	010	2月9日(日)	13:00	1月19日(日)	9:50	-	1/19 8:45
086	防水施工		アスファルト防水工事	010	2月2日(日)	9:45	-		○	-
			塩化ビニル系シート防水工事	050						
			改質アスファルトシート トーチ工法防水工事	090						
143	樹脂接着剤注入施工		樹脂接着剤注入工事	010	2月9日(日)	9:45	-		○	-
050	ガラス施工		ガラス工事	010	1月26日(日)	9:45	1級のみ 1月26日(日)	13:00	○	-
052	機械・プラント製図	◎	機械製図CAD(注1)	015	2月2日(日)	9:45	-		1/26	-
053	電気製図		配電盤・制御盤製図	010	2月9日(日)	9:45	-		1/26 8:45	-
060	塗装		鋼橋塗装	040	2月9日(日)	9:45	-		○	-

職種番号	検定職種	技能五輪	作業名	作業番号	学科試験(※)		実技試験(※)		
					日 時 (時間は集合時間)	計画立案等作業試験 (旧:ペーパーテスト)	製作等作業試験 (旧:作業試験)	判断等試験 (旧:要素試験)	
【3 級】									
006	機械加工		普通旋盤	010	2月9日(日)	9:45	-	○	-
013	機械検査		機械検査	010	2月9日(日)	13:00	-	○	-
015	電子機器組立て		電子機器組立て	010	2月9日(日)	13:00	-	○	-
016	電気機器組立て		シーケンス制御	060	1月26日(日)	9:45	-	○	-
069	冷凍空調和機器施工		冷凍空調和機器施工	010	2月2日(日)	9:45	-	○	-
124	家具製作		家具手加工	010	2月2日(日)	13:00	-	○	-
038	建築大工		大工工事	010	2月9日(日)	9:45	-	○	-
046	配管		建築配管	010	1月26日(日)	9:45	-	○	-
052	機械・プラント製図		機械製図CAD(注1)	015	2月2日(日)	9:45	-	1/26	-
053	電気製図		配電盤・制御盤製図	010	2月9日(日)	9:45	-	1/26 8:45	-

【特 級】									
職種番号	検定職種	職種番号	検定職種	学科試験(※)		実技試験(※)			
				日 時 (時間は集合時間)	計画立案等作業試験 (旧:ペーパーテスト)	製作等作業試験 (旧:作業試験)	判断等試験 (旧:要素試験)		
003	鑄造	141	半導体製品製造	2月2日(日)	9:45	2月2日(日)	13:00	-	-
005	金属熱処理	162	プリント配線板製造						
006	機械加工	097	自動販売機調整						
095	放電加工	148	光学機器製造						
114	金型製作	067	内燃機関組立て						
007	金属プレス加工	142	空気圧装置組立て						
123	工場板金	084	油圧装置調整						
010	めっき	068	建設機械整備						
012	仕上げ	025	婦人子供服製造						
013	機械検査	026	紳士服製造						
014	ダイカスト	037	プラスチック成形						
015	電子機器組立て	130	パン製造						
016	電気機器組立て								

計 4 2 職種 2 6 作業 (注) ◎は技能五輪県大会実施予定職種

(注1) 機械製図CAD作業で使用する機種及びソフトは原則として、次のとおりです。(持込みは原則として不可)
OS: Windows10 (延岡会場) または Windows10 Pro (宮崎会場)
使用ソフト: AutoCAD 2019 (延岡会場) または 2017 (宮崎会場)
プロッター: EPSON Sure Color T3250 (延岡会場・宮崎会場) } これ以外のソフトを希望される方は、当協会までお問い合わせください。

※受検手数料については、6ページの「5. 受検申請について」「(2) 受検手数料」をご覧ください。

3. 受検資格および試験の免除

- ①受検資格は、受付期間の最終日現在において下表1の実務年数を満たしていることが条件となっています。
 ②下表1の区分②～④につきましては、下表2を参照して下さい。
 ③受検資格について不明な点がありましたら、宮崎県職業能力開発協会 技能検定課までお問い合わせ下さい。

【表1】

(単位：年)

区 分	等 級	特級	1 級		2 級		3 級	単一 等級	
		1 級 合格後	2 級 合格後	3 級 合格後	3 級 合格後	※5			
① 実務経験のみ		7			2		0 ※6	3	
② 又 は ⑫ は 免 許 に 関 す る 種 に 関 す る 学 科 ・ 訓 練	② 専門高校卒業後 ※1 専修学校(大学入学資格付与課程に限る)卒業後	6					0	1	
	③ 短大・高専・高校専攻科卒業 ※1 専修学校(大学編入資格付与課程に限る)卒業後	5					0	0	
	④ 大学卒業 ※1 (申し込み前に検定課まで連絡してください。) 専修学校(大学院入学資格付与課程に限る)卒業後	4					0	0	
	⑤ 専修学校 ※2 又は各種学校卒業後 (厚生労働大臣が指定したものに限る。)	800時間以上	6	2	4				1
		1,600時間以上	5			0	0	0 ※7	1
		3,200時間以上	4						0
	⑥ 短期課程の普通職業訓練修了後	700時間以上	6					0 ※4	1
	⑦ 普通課程の普通職業訓練修了後	2,800時間未満	5					0	1
		2,800時間以上	4					0	0
	⑧ 専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練修了後		3	1	2			0	0
	⑨ 応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練修了後			1				0	0
	⑩ 長期課程又は短期養成課程の指導員養成訓練修了後			1	※3			0	0
⑪ 職業訓練指導員免許取得後			1		-	-	-	0	
⑫ 長期養成課程の指導員養成訓練修了後			0		0	0	0	0	

- ※1：学校教育法による大学、短期大学又は高等学校と同等以上と認められる外国の学校又は他法令学校を卒業した者は学校教育法に基づくそれぞれのものに準ずる。
 ※2：大学入学資格付与課程、大学編入資格付与課程及び大学院入学資格付与課程の専修学校を除く。
 ※3：短期養成課程の指導員訓練の修了者については、訓練修了後に行われる能力審査（職業訓練指導員試験に合格した者と同等以上の能力を有すると職業能力開発総合大学の長が認める審査）に合格しているものに限る。
 ※4：訓練時間が700時間未満のものを含む。
 ※5：3級の技能検定については、上記のほか、検定職種に関する学科に在学する者及び検定職種に関する訓練科において職業訓練を受けている者等も受検できる。
 ※6：検定職種に関し実務の経験を有する者について、受検資格を認めることとする。
 ※7：当該学校が厚生労働大臣の指定を受けたものであるか否かに関わらず、受検資格を付与する。

【表2】 検定職種に関する学科

検定職種	検定職種に関する学科	検定職種	検定職種に関する学科
さく井	土木科、地学科	かわらぶき	建築科
鍛造	金属工学科、機械科	配管	機械科、造船科、建築科
機械加工	機械科	型枠施工	建築科、土木科
機械検査	機械科	鉄筋施工	建築科、土木科
電子機器組立て	電子科、電気科	コンクリート圧送施工	建築科、土木科
電気機器組立て	電子科、電気科	防水施工	建築科
空気圧装置組立て	機械科	樹脂接着剤注入施工	建築科
農業機械整備	機械科	ガラス施工	建築科
冷凍空気調和機器施工	設備科	機械・プラント製図	機械科、金属工学科、溶接工学科、 化学工学科、工業化学科
婦人子供服製造	被服科・服装科・洋裁科		
家具製作	工芸科	電気製図	電気科
建築大工	建築科、大工科	塗装	建築科、工芸科、塗装科

4. 試験の免除について

(1) 技能検定関係（同一の検定職種に限る。）

対 象 者		技能検定試験の免除の範囲					備考
		特 級	1 級	2 級	3 級	単一等級	
特 級	実技試験のみ合格	実技の全部	-	-	-	-	※1
	学科試験のみ合格	学科の全部	-	-	-	-	※1
1 級	技能検定合格	-	学科の全部			-	
	実技試験のみ合格	-	実技の全部			-	※2
	学科試験のみ合格	-	学科の全部			-	※2
2 級	技能検定合格	-	-	学科の全部		-	
	実技試験のみ合格	-	-	実技の全部		-	※2
	学科試験のみ合格	-	-	学科の全部		-	※2
3 級	技能検定合格	-	-	-	学科の全部	-	
	実技試験のみ合格	-	-	-	実技の全部	-	※2
	学科試験のみ合格	-	-	-	学科の全部	-	※2
単 一 等 級	技能検定合格	-	-	-	-	学科の全部	
	実技試験のみ合格	-	-	-	-	実技の全部	※2
	学科試験のみ合格	-	-	-	-	学科の全部	※2

※1：実技試験又は学科試験に合格した日から5年間（最終年にあつては年度終わりまで）有効

※2：選択科目のある検定職種の場合には、同一の選択科目に限る。

(2) 職業能力開発行政関係（検定職種に関する訓練科又は免許職種に限る。）

対 象 者		技能検定試験の免除の範囲					備考
		特 級	1 級	2 級	3 級	単一等級	
職業訓練指導員試験合格又は職業訓練指導員免許取得		-	学科の全部			学科の全部	
応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後 5 年	-	学科の全部			学科の全部	
	実務経験年数 2 年	-	学科の全部			学科の全部	
		-	-	学科の全部		学科の全部	
専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後 4 年	-	学科の全部			学科の全部	
	実務経験年数 1 年	-	-	学科の全部		学科の全部	
		-	-	学科の全部		-	
普通課程の普通職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後2年（2,800時間以上なら1年）の実務経験	-	-	学科の全部		学科の全部	
		-	-	学科の全部		-	
短期課程の普通職業訓練について修了時試験合格かつ修了	1 級技能士コース	-	学科の全部			-	
	2 級技能士コース	-	-	学科の全部		-	
	単一等級技能士コース	-	-	-	-	学科の全部	
技能五輪全国大会における技能証		-	実技の全部	-	-	実技の全部	
技能五輪地方大会における技能証		-	-	実技の全部		-	※1
全国障害者技能競技大会	実技部門の技能証	-	-	実技の全部		-	※1
	学科部門の技能証	-	-	学科の全部		-	※1

※1：有効期限が過ぎた技能証であっても有効

(3) 他法令等関係

対 象 者		技能検定試験の免除の範囲					備考
		特 級	1 級	2 級	3 級	単 一 等 級	
製菓衛生師法による製菓衛生師試験に合格した者		-	菓子製造職種に係る学科試験のうち食品一般及び菓子一般		-	-	
建築士法による1級建築士試験若しくは2級建築士試験に合格した者又は1級建築士若しくは2級建築士の免許を受けた者		-	建築大工職種及びブロック建築職種に係る学科試験の全部		-	枠組壁建築職種に係る学科試験の全部	
建築士法による木造建築士試験に合格した者又は木造建築士の免許を受けた者		-	建築大工職種に係る学科試験の全部		-	枠組壁建築職種に係る学科試験の全部	
東京商工会議所が行う和裁に関する技能検定	1級の技能検定	-	和裁職種に係る実技試験の全部			-	
	2級の技能検定	-	-	和裁職種に係る実技試験の全部		-	

5. 受検申請について

(1) 受検申請に必要な書類等（※必要書類等が全てそろっていないと受理できません。）

- ① 受検申請書 …… 記載例を参考にして下さい。（P10～11）
- ② 写 真 …… 正面上半身脱帽像で申請6ヶ月以内の証明写真（ヨコ28mm×タテ32mm）
- ③ 受検手数料 …… 所定の手数料を納入し、振込金領収控（はりつけ用）を申請書右下に貼付してください。
- ④ 本人証明書類 …… 受検申請時に以下〔1〕～〔5〕のいずれかの書類（コピーしたもの）を受検申請書の裏面に貼り付けてください。

※本人証明書類は受検申請書の裏面に貼り付けること

- 〔1〕 運転免許証
- 〔2〕 健康保険被保険者証
- 〔3〕 個人番号カード（個人番号が記載されている箇所は黒塗りしてください。）
- 〔4〕 生徒手帳、学生証（氏名および生年月日が確認できるものに限りです。）
- 〔5〕 その他本人と証明できる書類

※氏名および生年月日が確認できるものに限りです。

※受検申請前に宮崎県職業能力開発協会 技能検定課（0985-58-1570）までお問い合わせください。

- ⑤ その他証明書類 …… 〔1〕 P4の受検資格②～⑫に該当する方は、それぞれが該当する職業訓練修了証書または卒業証書（科名が記載してあるものに限りです。）、技能検定合格証書等をコピーした上で添付してください。

※その他証明書類は貼り付けしないで添付すること

なお、受検資格①「実務試験のみ」欄の直接受検の実務経験年数を満たしている場合は不要です。

- 〔2〕 試験の免除の項目に該当する場合は、それを証明する書類をコピーした上で添付してください。

(2) 受検手数料

		〈実技手数料〉	〈学科手数料〉	
35歳以上の方	特級・1級・2級 単一等級	18,200円	3,100円	
	3級	一般	18,200円	
		※学生(在校生)	12,100円 (学割)	3,100円
35歳未満の方	特級・1級 単一等級	18,200円	3,100円	
	2級	9,200円	3,100円	
	3級	一般	9,200円	3,100円
		※学生(在校生)	3,100円 (学割)	3,100円

※学生とは学校教育法による高校、短大、高専、大学及び公共・認定職業能力開発校の在校生をいいます。ただし、公共・認定職業能力開発校においては、短期課程及び就職している者を除きます。

注) ・受検手数料は、受検申請受理後は返金できませんので、ご注意ください。

・3級の学割で申請する場合は、上記4.(1)〔④本人証明書類〕を生徒手帳、学生証又は在学証明書等、生徒・学生であることを証明できるものにしてください。

・表中の年齢は、平成31年4月1日時点です。

次ページへ続く⇒

- ① 受検手数料は、原則として、「銀行振込み」としてください。
- ② 振込みをする場合は、当協会所定の振込用紙を使用してください。
- ③ 所定の用紙で振込みますと、銀行から「振込金受取書」と「振込金領収控（はりつけ用）」が交付されますので、「振込金領収控（はりつけ用）」を受検申請書の右下の欄に貼ってください。
- ④ 同じ会社や学校などで複数人受検される場合は、受検手数料の合計額を1枚の振込用紙でまとめて入金されても結構です。ただしその場合、申請書の右下（振込金領収控を貼る欄）に社名や学校名を押印または記入してください。
- ⑤ インターネットバンキングによる振込の場合、振込金額と入金者が分かるものをプリントアウトして添付してください。
- ⑥ ATMによる振込みは利用明細控を貼り付けてください。

振込先

銀行名	宮崎銀行 木花支店
種目・口座番号	普通預金 1034385
名義	宮崎県職業能力開発協会

(3) 受検申請書の提出先

受検申請書は、郵送されるか持参して下さい。

宮崎県職業能力開発協会 技能検定課
〒889-2155 宮崎市学園木花台西2丁目4-3
電話番号 0985-58-1570

6. 技能検定受検に関する注意事項（重要）

- ① 受検申請後に住所及び氏名の変更があった場合は、すぐに当協会に連絡して下さい。
- ② 試験の免除を証明する書面を受検申請受付後に提出されても免除にはできませんので、必ず受付期間内に提出して下さい。
- ③ 受検申請書に虚偽の記載をした場合は、合格を取り消すことがあります。
- ④ 受検申請者が少ない場合は、試験を中止するか他県に委託する場合があります。
- ⑤ 下記職種の実技試験の受検を希望する方は、実技試験（作業試験）当日、それぞれ所定の証明書類又は申告書の携帯がないと受検できません。

検 定 職 種	作 業	級	必 要 書 類
冷凍空気調和機器施工	冷凍空気調和機器施工	1・2	ガス溶接作業主任者免許証又はガス溶接技能講習修了証その他資格を証する書面

- ⑥ 2職種又は2作業以上の受検を希望する者は、受検しようとする職種作業の学科試験の日時が重複している場合は、いずれか一方の学科受検を辞退して下さい。
- ⑦ 受検票は、合格発表まで必要です。なくさないようにして下さい。
- ⑧ 受検票は、試験当日必ず持参して下さい。
- ⑨ 学科試験及び計画立案等作業試験（旧：ペーパーテスト）の際は、筆記用具・消しゴム・定規・電卓を持参して下さい。
(電卓については、計画立案等作業試験（旧：ペーパーテスト）で必要な方に限ります。)
- ⑩ 送付した実技試験問題も、試験当日持参して下さい。ただし、事前に書き込みが禁止されている職種について、書き込みがされているものの持込みはできません。

次ページへ続く⇒

7. 試験結果の開示について

この試験の得点については、受検者本人に限り宮崎県個人情報保護条例第26条第1項の規定に基づき、県に口頭による開示請求をすることができます。

期間は合格発表日から1ヶ月間です。詳しくは、宮崎県商工観光労働部雇用労働政策課に問合せ下さい。
(県庁8号館3階)

なお、開示には、本人であることを証明できる書類(運転免許証、旅券等の顔写真付きの書類)が必要です。
また、電話、はがき等による簡易開示や本人以外の請求に応じることはできません。

宮崎県商工観光労働部雇用労働政策課 人材育成担当

〒880-0805 宮崎市橋通東2丁目10-1 電話番号(0985)26-7107

8. 学科試験に関する問題集の購入について

問題集については、下記のホームページから購入できますが、詳細については販売元へ直接お問い合わせ下さい。(宮崎県職業能力開発協会では購入できません。)

- ① 一般社団法人雇用問題研究会 電話(03)5651-7071 FAX(03)5651-7077
HP <http://www.koyoerc.or.jp/>
- ② 中央職業能力開発協会「図書センター」 電話(03)3603-8373 FAX(03)3603-2490
HP <http://www.javada.or.jp/>

9. 技能検定に関する講習会実施団体

- ① 下記団体が講習を実施する予定ですので、講習を希望する場合は直接団体にご連絡下さい。
- ② 公共職業能力開発施設や各種団体の開催する講習会の案内送付を希望される方は、受検申請書左下の欄に必ず記入して下さい。(ただし、講習会が開催されない場合や人数制限される場合があります。)

職種名	作業名	団体名	〒	住所	電話番号
建築大工	大工工事	宮崎高等技術専門学校	880-0912	宮崎県宮崎市赤江868-16	0985-52-5583
配管	建築配管	都城地域高等職業訓練校	885-0017	宮崎県都城市年見町13-11	0986-23-2316
型枠施工	型枠工事	宮崎県型枠工事業協会	880-0212	宮崎市佐土原町下那珂7697-1 (有)在永工務店内	0985-74-2630
鉄筋施工	鉄筋施工図作成	宮崎県鉄筋業組合	885-1103	宮崎県都城市上水流町1640-4 (有)山路鉄筋工業内	0986-36-0244
	鉄筋組立て				

技能五輪全国大会 宮崎県予選会

◎技能五輪全国大会とは

青年技能者（23歳以下）の技能レベルの日本一を競う技能競技大会で、将来の日本の産業を支える技能者の育成と、「ものづくり」の大切さを広く知ってもらうことを目的として、毎年開催されています。

◎宮崎県予選会とは

技能五輪全国大会に派遣する選手を選抜するための予選会で、技能検定の実技試験にあわせて行うものです。この予選会で優秀な成績をおさめた者の中から宮崎県代表が選ばれ、技能五輪全国大会に出場することができます。

【予選会実施予定職種(作業)】

- ・ 冷凍空気調和機器施工（冷凍空気調和機器施工）
- ・ 建築大工（大工工事）
- ・ 配管（建築配管）
- ・ 機械・プラント製図（機械製図CAD）

【参加資格】 日本国籍を有し、平成9年1月1日以降に生まれた者。

【参加手数料】 9,200円

【申込方法】

技能五輪予選会だけの参加(※)と、2級技能検定の実技試験と兼ねて参加する、2つの方法があります。受付期間や申込方法などは、技能検定試験と全く同じです。

技能検定受検申請書に必要な事項を記入し、参加手数料（9,200円）を納めて提出してください。（申込後は参加手数料の返還はしません）

なお、2級技能検定の実技試験と兼ねて参加する場合は、予選会の参加手数料は不要です。

※ 技能五輪全国大会の出場を希望しないこともできます。

【予選会】

競技の課題、実施日時及び会場は、2級技能検定の実技試験と同じです。

【特典】

技能五輪予選会だけの参加者のうち、一定水準以上の成績をおさめた者には「技能証」が交付されます。この「技能証」を取得した者は、同じ作業の2級技能検定の実技試験が免除されます。

記載例

技能検定受検申請書

厚生労働大臣
宮崎県知事 殿

技能検定を受けたいので申請します。

該当する番号を○で囲んでください。

01	1級	04	特級
02	2級	05	五輪
03	単一等級	06	3級

該当するものを○で囲んでください。

甲	実技及び学科とも受検
A	学科試験のみ受検(実技免除でない者)
乙	実技試験のみ受検(学科免除でない者)
B	学科試験のみ受検(実技免除の者)
C	実技試験のみ受検(学科免除の者)
D	実技、学科とも免除
五輪	五輪のみ参加

(右票1)

学科試験を宮崎県以外で受検希望する方はご記入ください。

県

学科試験写真票

(学科試験・計画立案等作業試験)

※受検番号	
職種名	機械加工
作業名	フライス盤
等級	1級
ふりがな	けんてい たろう
氏名	検定太郎 (〇〇才)
現住所電話番号	〒889-2155 宮崎市学園木花台西2-4-3 (0985) 58 - 1570
携帯電話	090-0000-0000
勤務先又は 在学先 学校名 電話番号	(株)海山鉄工所 宮崎市大塚町1-1 (0000) 〇〇-0000
受検資格判定	※ 免除資格判定 ※ 実技

切りはなしてはいけません

写真	年	学	科
	月	出	欠
	日	計	画立案等作業試験
	影	出	欠

申請前6ヶ月以内に撮影した正面脱帽半身像のもの裏面に氏名を記入(3.2cm×2.8cm)

(注) 2作業以上同時受検する方は学科試験日が重複している場合は、いずれか一方の学科受検を辞退してください。

別の職種(作業)を同時に受検する方はその作業名を記入。
13 機械検査

切りはなして

職種名	機械加工
作業名	フライス盤
等級	1級
ふりがな	けんてい たろう
氏名	検定太郎 (〇〇才)
納入方法	現金 (振込)
実技手数料	〇〇〇〇〇円
学科手数料	〇〇〇〇〇円

納入された受検手数料は宮崎県の条例によりいかなる理由があっても返還できません。

令和〇〇年〇〇月〇〇日	職種番号	006	作業番号	040	※受検番号	
職種名	機械加工		作業名		フライス盤	
ふりがな	けんてい たろう		生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日生(才)	性別	男
氏名	検定太郎		年齢及び性別	H31.4.1における年齢(〇〇才)		女
現住所	〒889-2155 宮崎市学園木花台西2-4-3		同居先方	自宅電話	(市外局番 0985 局) 58 - 1570 番	
学歴(中・高・大・学)	学校名(検定職種に關係あるもの)	学科・課程	所在地	在学期間	昭和平成令和 年 月 ~ 年 月 卒業	
訓練歴	訓練施設名	訓練科	所在地	訓練期間	昭和平成令和 年 月 ~ 年 月 訓練中	
検歴(新・旧)	事業所名	検定に関する職務内容	所在地	在職期間	昭和平成令和 年 月 から 年 月 勤続年数(年 月 日)	
資格	現職	(株)海山鉄工所	フライス盤	宮崎市大塚町1-1	TEL() - 〇〇〇〇〇〇	
	検定と関係ある前職	本郷精機	フライス盤	都城市年見町	TEL() - 〇〇〇〇〇〇	
	◎上記に記入した検定職種に関する実務経験の通算年数 (計 19 年 4 ヶ月)					
試験の免除	1 特級受検(1級技能検定合格者)	2 1級受検(2・3級技能検定合格者)	3 2級受検(3級技能検定合格者)	該当する番号を○で囲んで下さい。	級	検定作業名
	①	②	③		2	フライス盤
	資格等の名称(該当する番号を○で囲む)	合格通知番号・合格年月日	資格判定	免除資格判定	実技試験	学科試験
	① 実技のみ合格 2. 技能証 3. その他()	第 〇〇〇〇 号	〇〇年〇〇月〇〇日	免除資格判定	実技試験	学科試験
	④ 1. 学科のみ合格 2. 技能検定合格 3. 技能照査	第 〇〇〇〇 号	〇〇年〇〇月〇〇日	免除資格判定	実技試験	学科試験
	⑤ 指導員免許 5. 向上訓練(通信訓練)	第 〇〇〇〇 号	〇〇年〇〇月〇〇日	免除資格判定	実技試験	学科試験
	6. その他()	第 〇〇〇〇 号	〇〇年〇〇月〇〇日	免除資格判定	実技試験	学科試験

●太線内をすべて記入すること。 ●申請書記入については受検案内P10・11参照のこと。

●個人情報の取扱いについて(必ず記入して下さい。)

1 各種団体等が講習会を開催する際の案内送付を希望されますか。*	希望する	希望しない
2 あなたが所属する学校(高校、短大、高専、大学)から受検番号、試験日、合否について問い合わせがあった場合、当該学校に対し、情報提供することに同意しますか。	希望する	希望しない

本人署名欄 検定太郎

●技能五輪宮崎県予選会について(参加の条件)日本国籍を有し、23才以下の方。*詳細については受検案内のP9を参照して下さい。

技能五輪宮崎県予選会に参加を希望されますか。	希望する	希望しない
------------------------	------	-------

「希望する」「希望しない」のいずれにも○がない場合は、すべて「希望しない」とみなします。

【注意】本人確認書類のコピーは裏面に必ず貼付してください。

② (左票)
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪ ※必ずコピーを添付すること。

〈申請書記入上の注意〉

- ・※印欄には記入しないこと。
- ・申請書は、必ず本人が記入すること。
- ・記入は、黒色ボールペンを使用し、「かい書」で正確に記入すること。
- ・記載事項に不正があった場合は、合格を取り消す場合がある。

- ①受検する級の番号及び受検区分の該当するものを○で囲むこと。
- ②職種番号及び作業番号を記入すること。
- ③職種名及び作業名を記入すること。
- ④氏名は、戸籍上の名前を書き、生年月日、年齢、性別を記入すること。なお、年齢は申請日の年齢およびH31.4.1における年齢を記入すること。
- ⑤現住所は、郵便物が確実に届くよう、アパート名、○○棟、○○号室まで、住み込みの場合は○○方等まで記入すること。
電話番号は、申請書等の不備の確認や緊急連絡のため必ず記入すること。
- ⑥学歴の上欄は検定職種に関する学科に在学中または、卒業（最終学歴と同じ場合は下欄のみ記入）の場合記入すること。**下欄は最終学歴を必ず記入すること。**
- ⑦訓練歴は、受検しようとする職種に関係あるもので、県、雇用・能力開発機構、認定職業訓練校の訓練施設について最近のものから順に記入し、書ききれない場合は、適当な補助紙をつけること。
- ⑧職歴は、受検資格（P4参照）を満たす年数が必要であり、現在の勤務先から記入すること。なお、受検しようとする職種に関係ない職歴は記入する必要はない。職歴の欄が不足する場合は、適当な補助紙を付けること。また、検定に関する職務内容も必ず記入すること。
- ⑨通算年数は、⑧の職歴に記入した年数の合計を記入すること。
- ⑩この欄には、1級、2級、3級に合格した者がそれぞれ特級、1級、2級を受検する場合、既に合格した級の合格年月日を記入すること。
なお、この場合は、その合格証書のコピーを添付すること。
※実務経験の通算年数が不足している方は必ず記入。
- ⑪受検案内の「4. 試験の免除について」に該当するものがある場合に該当する項目を○で囲み、その年月日を記入すること。また、それを証明する書類のコピーを必ず添付すること。
- ⑫写真は、申請前6ヶ月以内の証明写真とすること。ただし、免除等で受検しない試験の写真は貼付不要。
- ⑬今回、2つ以上の職種、作業を受検する方は、同時に受検する作業名を記入すること。
- ⑭受検手数料は当協会の振込用紙で、振り込みした後に振込金領収控（はりつけ用）をこの欄に添付のこと。
その他の振込み方法を使用される方はP6～7(2)受検手数料を参照すること。
- ⑮講習会の案内を希望される方、情報提供することに同意される方は必ず氏名を記入のこと。
- ⑯技能五輪宮崎県予選会に参加を希望される方は必ず「希望する」を○で囲むこと。

(右票2)

計画立案等作業試験の受検者は、
(右票1)にも記入してください。

実技試験写真票

(製作等作業試験・判断等試験)

※受検番号		
職 種 名	機械加工	
作 業 名	フライス盤	
等 級	1 級	
ふりがな	けんていたろう	
氏 名	検定太郎 (〇〇才)	
現住所 電話番号	〒889-2155 宮崎市学園木花台西2-4-3 (0985) 58 - 1570	
携帯電話	090-0000-0000	
勤務先又は 在学学校名 電話番号	(株)海山鉄工所 宮崎市大塚町1-1 (0000) 00-0000	
受検 資格 判定	免 除 資 格 判 定	学 科

※記入しないこと

年	製作等作業試験	
	出	欠
月	判断等試験	
	出	欠
日 撮影	計画立案等作業試験	
	出	欠

※ ※

減免	学割
----	----

※ 区 分	※ 検 印	※ 減 免	※ 学 割

振込金領収控(はりつけ用)貼付欄

14

令和元年度後期技能検定 実技試験問題の概要

令和元年度(後期)技能検定実技試験問題の概要は次のとおりですが、試験時間・試験内容につきましては一部変更される場合もあります。(最新の状況については中央協会HPをご参照下さい。)

なお、試験時間について、「試験時間 ○時間○分」と記載されている場合は、試験開始から終了までの作業可能な時間を表しています。一方、「標準時間 ○時間○分 打ち切り時間 ○時間○分」と記載されている場合は、打ち切り時間まで作業可能ですが、標準時間を超過した時間数に応じて減点されます。

また、**免許又は技能講習**のマークがあるものは、試験当日、労働安全衛生法第61条第1項又は道路交通法第84条に基づく資格証等(例：ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能講習修了証、自動車運転免許証)を携帯していなければ、原則として試験を受検することができない他、**特別教育**のマークがあるものは、試験当日、労働安全衛生法第59条第3項に基づく安全又は衛生のための特別の教育を修了した証明書等の原本若しくは写しを提示するか又は特別の教育と同等の知識及び技能を有していることを別途指定する様式により申告していただきます。

【特 級】

以下の25職種について、次に掲げる計画立案等作業試験を行う。

計画立案等作業試験は、工程管理、作業管理、品質管理、原価管理、安全衛生管理、作業指導及び設備管理について行う。

試験時間 3時間

- | | | |
|------------|-----------|-------------|
| ● 鋳造 | ● 金属熱処理 | ● 機械加工 |
| ● 放電加工 | ● 金型製作 | ● 金属プレス加工 |
| ● 工場板金 | ● めっき | ● 仕上げ |
| ● 機械検査 | ● ダイカスト | ● 電子機器組立て |
| ● 電気機器組立て | ● 半導体製品製造 | ● プリント配線板製造 |
| ● 自動販売機調整 | ● 光学機器製造 | ● 内燃機関組立て |
| ● 空気圧装置組立て | ● 油圧装置調整 | ● 建設機械整備 |
| ● 婦人子供服製造 | ● 紳士服製造 | ● プラスチック成形 |
| ● パン製造 | | |

【1・2級】

● さく井（ロータリー式さく井工事作業）

1級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 判断等試験は、泥水の比重等の測定、地層の鑑定及びコンダクタの管尻の止め位置の判定、泥水及び充てん砂利の選定について行う。 試験時間 24分

(2) 計画立案等作業試験は、掘さく地質、使用機器の判定、揚水試験等について行う。 試験時間 1時間30分

2級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 判断等試験は、泥水の比重等の測定、地層の鑑定及びコンダクタの管尻の止め位置の判定、泥水及び充てん砂利の選定について行う。 試験時間 30分

(2) 計画立案等作業試験は、掘さく地質、使用機器の判定、揚水試験等について行う。 試験時間 1時間30分

● 鍛造（プレス型鍛造作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 製作等作業試験は、金型をプレス型鍛造機に取り付け、調整のための試し打ちを行った後、仕上げ工程を含む3工程以上の加工（変形）工程を有し、かつ、ばり抜き工程を有する熱間鍛造を行う。また、試験時間外に鋼材の目視温度測定を行う。

標準時間 1時間45分～2時間15分 打ち切り時間 2時間5分～2時間35分

(2) 計画立案等作業試験は、製品の検査、材料の加工、材料の加熱、製品の欠陥判別等について行う。

試験時間 1時間

2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、金型をプレス型鍛造機に取り付け、調整のための試し打ちを行った後、仕上げ工程を含む2工程以上の加工（変形）工程を有し、かつ、バリ抜き工程を有する熱間鍛造を行う。また、試験時間外に鋼材の目視温度測定を行う。

標準時間 1時間45分～2時間15分 打切り時間 2時間5分～2時間35分

- (2) 計画立案等作業試験は、製品の検査、材料の加工、材料の加熱、製品の欠陥判別等について行う。

試験時間 1時間

●機械検査（機械検査作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験

①外側マイクロメータ、ノギス、ハイトゲージ及びシリンダゲージを用いた部品の寸法測定（26箇所）を行う。

試験時間 13分

②歯厚マイクロメータを用いた歯車のまたぎ歯厚測定を行う。

試験時間 5分

③三針法によるねじプラグゲージの有効径測定を行う。

試験時間 3分

④外側マイクロメータの性能判定（ブロックゲージによる指示誤差（器差）及び平行度測定）を行う。

試験時間 8分

- (2) 計画立案等作業試験は、複雑な形状の部品の精密測定の際の段取り方法、測定方法及び計算式について記述式等で行う問題と品質管理の問題により行う。

試験時間 2時間

2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験

①外側マイクロメータ、ノギス、ハイトゲージ及びシリンダゲージを用いた部品の寸法測定（21箇所）を行う。

試験時間 11分

②歯厚マイクロメータを用いた歯車のまたぎ歯厚測定を行う。

試験時間 5分

③三針法によるねじプラグゲージの有効径測定を行う。

試験時間 3分

④外側マイクロメータの指示誤差（器差）測定（ブロックゲージ使用）を行う。

試験時間 6分

- (2) 計画立案等作業試験は、単純な形状の部品の精密測定の際の段取り方法、測定方法及び計算式について記述式等で行う問題と品質管理の問題により行う。

試験時間 1時間45分

●電気機器組立て（シーケンス制御作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、指示された仕様に基づいて配線作業を行い、回路を完成させた後、プログラマブルコントローラ（PLC）にプログラムを入力し作動させる。

標準時間 2時間10分 打切り時間 2時間30分

- (2) 計画立案等作業試験は、プログラマブルコントローラ（PLC）のプログラミングとシステム設計に関することについて行う。

標準時間 1時間

2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、指示された仕様に基づいて配線作業を行い、回路を完成させた後、プログラマブルコントローラ（PLC）にプログラムを入力し作動させる。

標準時間 2時間 打切り時間 2時間20分

- (2) 計画立案等作業試験は、プログラマブルコントローラ（PLC）のプログラミングとシステム設計に関することについて行う。

標準時間 1時間

●空気圧装置組立て（空気圧装置組立て作業）

1級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 判断等試験は、空気圧回路図の判定、検出器（センサ）の判定、空気圧アクチュエータの判定等について行う。
試験時間 45分
- (2) 計画立案等作業試験は、空気圧回路図の読図、装置の調整及び保守点検方法、空気圧装置に関する計算等について行う。
試験時間 2時間

2級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 判断等試験は、検出器（センサ）の判定、電磁弁の判定、空気圧機器の判定等について行う。
試験時間 45分
- (2) 計画立案等作業試験は、簡単な空気圧回路図の読図、装置の調整及び保守点検方法、空気圧装置に関する計算等について行う。
試験時間 2時間

●農業機械整備（農業機械整備作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、電気回路の不良箇所の判定、トラクタの不良箇所の整備、電気回路の配線、傾斜検出センサによる出力電圧の測定、トラクタのバッテリー電圧・充電電圧の測定及びトラクタの点検について行う。
試験時間 50分
- (2) 計画立案等作業試験は、トラクタ、コンバイン、乾燥機等に関し、予防・保守整備、工数見積り及び溶接等の基礎技能について行う。また、乾燥機及びコンバインに関し、故障箇所の発見、故障箇所の整備、点検・調整及び機能の確認について行う。
試験時間 1時間

2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、電気回路の不良箇所の判定、電磁バルブの整備、電気回路の配線、インジェクションノズルの噴射圧力の調整、可変抵抗器の回転角度による抵抗測定、導線の導通テスト及び抵抗測定、トラクタの点検について行う。
試験時間 1時間5分
- (2) 計画立案等作業試験は、トラクタ、コンバイン、乾燥機等に関し、予防・保守整備及び溶接等の基礎技能について行う。また、乾燥機及びコンバインに関し、故障箇所の発見、故障箇所の整備、点検・調整及び機能の確認について行う。
試験時間 1時間

●冷凍空気調和機器施工（冷凍空気調和機器施工作業） 免許又は技能講習

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、銅管及び継手を使用して、フレア加工、曲げ加工、ろう付け等により立体的な冷凍空調設備の配管作業及び気密試験を行う。
標準時間 1時間30分 打切り時間 2時間
- (2) 計画立案等作業試験は、冷凍空気調和機器の機能、構造及び故障の発見等について行う。
試験時間 1時間30分

2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

- (1) 製作等作業試験は、銅管及び継手を使用して、フレア加工、曲げ加工、ろう付け等により平面的な冷凍空調設備の配管作業及び気密試験を行う。
標準時間 1時間30分 打切り時間 2時間
- (2) 計画立案等作業試験は、冷凍空気調和機器の機能、構造及び故障の発見等について行う。
試験時間 1時間30分

(注) 製作等作業試験については、1、2級とも、労働安全衛生法に基づくガス溶接作業主任者免許証又はガス溶接技能講習修了証その他資格を証する書面の携帯を要する。

●婦人子供服製造（婦人子供既製服縫製作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 製作等作業試験は、持参した裁断済みの材料により、婦人用ジャケット2着を製作する。

試験時間 6時間

(2) 計画立案等作業試験は、製品の縫製作業工程図について行う。ただし、デザイン画等は、試験当日試験場で解
答用紙とともに配付する。

試験時間 1時間

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

持参した裁断済みの材料により、前明きワンピースドレス2着を製作する。

試験時間 4時間30分

●建築大工（大工工事作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

振隅木小屋組の平面図、振隅木及び配付たる木の現寸展開図を作成し、木ごしらえ及び墨付けをした後、加工
組立てを行う。

標準時間 5時間30分 打切り時間 5時間45分

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

柱建て四方転びの平面図、正面図、側面図及び柱の現寸展開図を作成し、木ごしらえ及び墨付けをした後、加
工組立てを行う。

標準時間 5時間30分 打切り時間 5時間45分

●かわらぶき（かわらぶき作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

屋根下地に、引掛け棧葺きにより瓦葺き作業を行う。

なお、軒先には、一文字軒瓦を使用する。

標準時間 4時間 打切り時間 4時間30分

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

屋根下地に、引掛け棧葺きにより瓦葺き作業を行う。

なお、軒先には、万十軒瓦を使用する。

標準時間 4時間 打切り時間 4時間30分

●配管（建築配管作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 製作等作業試験は、給水配管図に従い、エルボ、T（チーズ）等の管継手を使用して配管用炭素鋼鋼管、水道
用硬質ポリ塩化ビニル管及び銅管の組立てを行う。

標準時間 3時間30分 打切り時間 3時間50分

(2) 計画立案等作業試験は、配管図から材料を拾い出して、材料表を作成する。

試験時間 2時間

2級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 製作等作業試験は、給水配管図に従い、エルボ、T（チーズ）等の管継手を使用して配管用炭素鋼鋼管、水道
用硬質ポリ塩化ビニル管及び銅管の組立てを行う。

標準時間 2時間30分 打切り時間 2時間50分

(2) 計画立案等作業試験は、配管図から材料を拾い出して、材料表を作成する。

試験時間 2時間

●型枠施工（型枠工事作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 製作等作業試験は、型起こし台（合板パネル）上に基礎型枠（片側半分のもの）の下ごしらえ及び組立てを行う。

標準時間 5時間 打切り時間 5時間30分

(2) 計画立案等作業試験は、躯体図及び仕様等に従い、型枠加工図（下ごしらえ図）に必要な寸法、パイプサポ
ートの位置等について行う。

試験時間 2時間

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

型起こし台（合板パネル）上に基礎型枠（片側半分のもの）の下ごしらえ及び組立てを行う。

標準時間 5時間 打切り時間 5時間30分

●鉄筋施工（鉄筋施工図作成作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

2階建て鉄筋コンクリート造の建築物の基礎伏図、はり・床伏図、各部断面リスト等に基づき、柱、大ばり及び小ばりの鉄筋施工図並びに加工絵符の作成について行う。 試験時間 3時間

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

2階建て鉄筋コンクリート造の建築物のはり・床伏図、断面リスト等に基づき、スラブの鉄筋施工図並びに加工絵符の作成について行う。 試験時間 2時間30分

●鉄筋施工（鉄筋組立て作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

曲げ加工した鉄筋を使用し、図面及び仕様に従い、基礎、柱及びはりの取合部の鉄筋の組立てを行う。

標準時間 1時間40分 打切り時間 2時間10分

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

曲げ加工した鉄筋を使用し、図面及び仕様に従い、基礎、柱及びはりの取合部の鉄筋の組立てを行う。

標準時間 1時間20分 打切り時間 1時間40分

●コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）

1級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 判断等試験は、写真、イラスト等を利用して、コンクリートポンプの関係器具の名称及び用途、ブーム付きコンクリートポンプ車の操作、コンクリートポンプ車で使用している装置の目的・用途等について行う。

試験時間 50分

(2) 計画立案等作業試験は、コンクリートの圧送条件、コンクリートポンプ工法の施工計画、コンクリートポンプ車の設置等について行う。

試験時間 2時間

2級 次に掲げる判断等試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 判断等試験は、写真、イラスト等を利用して、コンクリートポンプの関係部品の名称及び目的・用途、ブーム付きコンクリートポンプ車の操作、コンクリートポンプ車の点検等について行う。

試験時間 50分

(2) 計画立案等作業試験は、コンクリートの配合、コンクリートの圧送条件、コンクリートポンプの構造等について行う。

試験時間 2時間

●防水施工（アスファルト防水工事作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

試験台の平場、立上がり及び貫通配管の各部にアスファルト防水を行う。

標準時間 1時間50分 打切り時間 2時間20分

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

試験台の平場及び立上がり部にアスファルト防水を行う。

標準時間 1時間50分 打切り時間 2時間10分

●防水施工（塩化ビニル系シート防水工事作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

試験台の平場、立上がり及び貫通配管回りの各部に接着工法及び機械的固定工法による塩化ビニル系シート防水を行う。

標準時間 1時間50分 打切り時間 2時間20分

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

試験台の平場及び立上がりの各部に接着工法及び機械的固定工法による塩化ビニル系シート防水を行う。

標準時間 1時間50分 打切り時間 2時間20分

●防水施工（改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

試験台の平場、立上がり及び貫通配管回りの各部に改質アスファルトシートトーチ工法防水を行う。

標準時間 2時間 打切り時間 2時間30分

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

試験台の平場及び立上がりの各部に改質アスファルトシートトーチ工法防水を行う。

標準時間 2時間 打切り時間 2時間30分

●樹脂接着剤注入施工（樹脂接着剤注入工事作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

(1) 建築物外壁を想定した試験架台に、浮き部の穿孔及びエポキシ樹脂の注入作業、ひび割れ部の自動式低圧注入作業、ひび割れ部のUカットシール材充填作業並びに欠損部の補修の作業を行う。

標準時間 1時間40分 打切り時間 2時間

(2) 建築物外壁を想定した試験架台に、タイル浮き調査（打診検査）の作業を行う。

標準時間 3分 打切り時間 5分

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

建築物外壁を想定した試験架台に、浮き部の穿孔及びエポキシ樹脂の注入作業、ひび割れ部の自動式低圧注入作業並びにひび割れ部のUカットシール材充填作業を行う。

標準時間 1時間10分 打切り時間 1時間30分

●ガラス施工（ガラス工事作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験及び計画立案等作業試験を行う。

(1) 製作等作業試験は、与えられた試験台、図面等に基づいて、アルミサッシの組立て・取付け作業、板ガラスの切断・加工作業、板ガラスの方立工法・弾性シーリング工法・グレイジングガスケット工法による板ガラスの取付け作業、建築窓ガラス用フィルムの貼付け作業、鏡を想定したガラスの原寸図の製図・切断・加工・貼付け作業を行う。

標準時間 2時間50分 打切り時間 3時間10分

(2) 計画立案等作業試験は、立面図、建具詳細図等に基づき、適正なガラスの寸法、ガラス工事に必要な工事費の算出等について行う。

試験時間 1時間45分

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

与えられた試験台、図面等に基づいて、アルミサッシの組立て・取付け作業、板ガラスの切断・加工作業、板ガラスの方立工法・弾性シーリング工法・グレイジングガスケット工法による板ガラスの取付け作業、建築窓ガラス用フィルムの貼付け作業を行う。

標準時間 2時間20分 打切り時間 2時間40分

●機械・プラント製図（機械製図CAD作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

実技試験問題（計算問題を含む）及び課題図（機械装置を組み立てた状態の図面）から、指定された部品図をCADにより作成する。

試験時間 5時間

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

実技試験問題及び課題図（機械装置を組み立てた状態の図面）から、指定された部品図をCADにより作成する。

試験時間 4時間

●電気製図（配電盤・制御盤製図作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

- (1) 高圧受電設備の高圧・低圧回路の主回路概略単線接続図、過電流保護協調曲線及び整定表を作成するとともに、部品表を完成し動力変圧器二次側の短絡電流値を求める。
- (2) 非常用発電設備（高圧用）及びその負荷となる電動機（高圧用）を制御する展開接続図を作成する。

試験時間 6時間

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

- (1) 高圧・フィーダ回路を収納する閉鎖配電盤の扉正面図を作成するとともに部品表及び部品配置図を完成する。
- (2) 2台の既設ポンプ用三相かご形誘導電動機のうち、1台を省エネのためインバータ装置付きに改造したあとの展開接続図をCWD方式で書く。

試験時間 6時間

●塗装（鋼橋塗装作業）

1級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

- (1) 電動工具及び手工具による旧塗膜除去作業
- (2) 塗料の調合作業
- (3) 旧塗膜を除去した面の塗装作業
- (4) 塗膜厚測定作業

試験時間 1時間

2級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

- (1) 電動工具及び手工具による旧塗膜除去作業
- (2) 塗料の調合作業
- (3) 旧塗膜を除去した面の塗装作業

試験時間 50分

【3 級】

●機械加工（普通旋盤作業）

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

普通旋盤（センチ間の最大距離が500～1500mm程度のもの）を使用し、 $\phi 60 \times 115$ mm程度のS45Cの材料1個及び $\phi 60 \times 55$ mm（ $\phi 25$ の穴のあいたもの）程度のS45Cの材料1個に、内外径削り、テーパ削り等の切削加工を行い、はめ合わせのできる部品を2個製作する。

なお、使用するバイトの品種は、超硬、ハイス、その他のものでもよい。

標準時間 2時間 打切り時間 2時間30分

●機械検査（機械検査作業）

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

作業1 外側マイクロメータ、ノギス及びシリンダゲージを用いた部品の寸法測定（16箇所）を行う。

試験時間 16分

作業2 三針法によるねじプラグゲージの有効径を測定する。

試験時間 8分

作業3 外側マイクロメータの指示誤差（器差）測定（ブロックゲージ使用）を行う。

試験時間 10分

●電子機器組立て（電子機器組立て作業）

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

シャーシ、専用プリント配線板、IC、トランジスタ等の部品を用い、光検出器の組立てを行う。

標準時間 1時間30分 打切り時間 2時間

●電気機器組立て（シーケンス制御作業）

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

指示された仕様に基づいて配線作業を行い、回路を完成させた後、プログラマブルコントローラ（PLC）にプログラムを入力し作動させる。

標準時間 1時間35分 打切り時間 1時間55分

●冷凍空気調和機器施工（冷凍空気調和機器施工作業）

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

銅管及び継手を使用して、フレア加工、曲げ加工等により冷凍空調設備の配管作業を行う。

標準時間 1時間30分 打切り時間 2時間

●家具製作（家具手加工作業）

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

製作図に基づき、手工具を使用して各種仕口工作を行い、わく状の課題を製作する。

標準時間 2時間30分 打切り時間 3時間

●建築大工（大工工事作業）

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

仕様に従い、柱、桁、はり、棟木、隅木及び平たる木の加工組立てを行い、寄棟小屋組の一部を製作する。

標準時間 2時間45分 打切り時間 3時間

●配管（建築配管作業）

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

給水配管図に従い、エルボ、T（チーズ）等の管継手を使用して配管用炭素鋼鋼管及び水道用硬質ポリ塩化ビニル管の組立てを行う。

標準時間 2時間15分 打切り時間 2時間35分

●機械・プラント製図（機械製図CAD作業）

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

実技試験問題及び課題図（機械装置を組み立てた状態の図面）から、指定された部品図をCADにより作成する。

試験時間 3時間

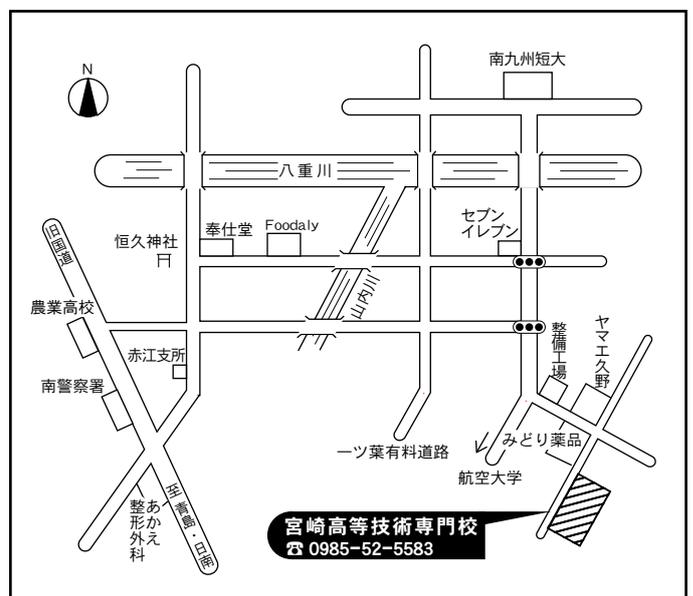
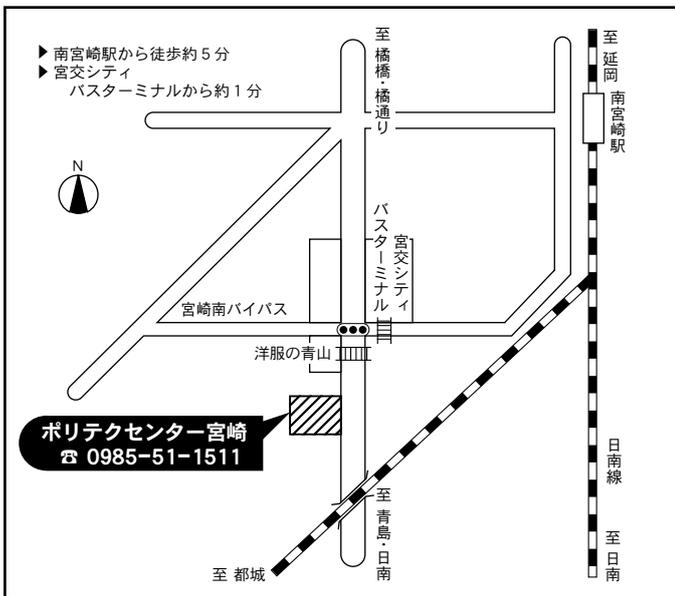
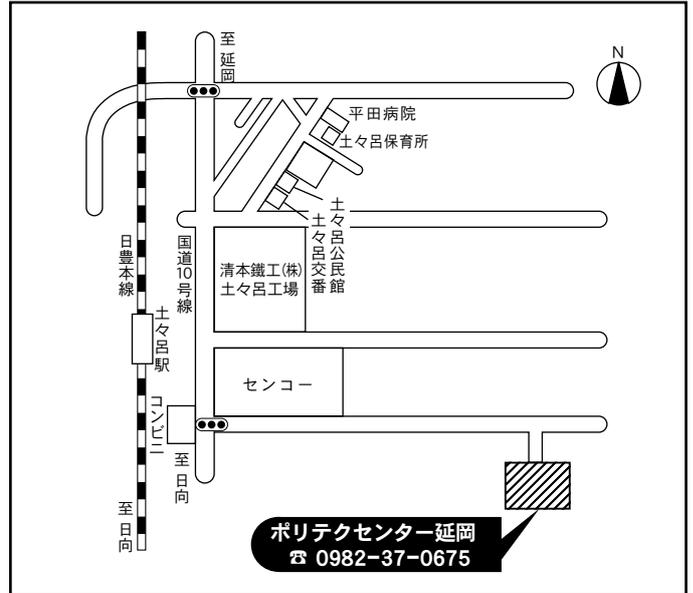
●電気製図（配電盤・制御盤製図作業）

3級 次に掲げる製作等作業試験を行う。

制御盤の外形図、誘導電動機起動用の主回路及び制御回路の展開接続図を作成するとともに電気用図記号表等を完成させる。

試験時間 3時間

技能検定の主な試験会場



※試験会場は、受検票でお知らせします。
受検票には、会場、集合時間など重要なことが記載されています。よく確認してください。

< 問い合わせ先 >

宮崎県職業能力開発協会 技能検定課 〒 889-2155 宮崎市学園木花台西2丁目4-3
 電話番号 (0985) 58-1570
 FAX番号 (0985) 58-1554
 ホームページアドレス
<http://www.syokuno.or.jp>